

# 走行チェックシート

日付	2012年4月1日 (日)		時間	~	イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L2	ライダー	今野由寛		
コース	名称	ツインリンクもてぎ			気温	13	°C	
	コンディション	DRY			気圧	1000	hpa	
	路面温度	25	(計測時間)		湿度	25	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 44(2.933)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-12			
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	190	mm		
	イニシャル	9	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-13		突き出し	STDトップブリッジで12mm突き出し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-10			
	スプリング	120.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	SPL			
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	-	mm		
	COMP(HI)	MIN		車高	STD+16mm ピボット±0mm スイング長610mm mm			
	COMP(LO)	-10						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.5			
チェック	順位	リタイヤ		ベストラップ	1' 53. 009(決勝)			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>  
 今年も2012全日本ロードレース選手権が開幕しました。  
 今年からマシンが新型になって速くなっています。  
 更に昨年シーズン終了直後から今野選手と共に、筑波サーキットでほぼ毎週のようにテストを行ってきました。  
 今野選手はJSB車両でテストをしていないときは、積極的にモトクロスやダートトラックトレーニングもおこなっていました。  
 万全の体制でシーズンを迎えました。事前テストでは昨年のタイムには及びませんでした。  
 事前テストでの問題点を解決しレースウィークに入りました。  
 開幕戦は練習走行日が多いのでより思い切ったセッティングも行えます。  
 フロントに問題を抱えていましたが、メインスプリングのレートを下げて、リバウンドスプリングを長くすることによって解決する方向に。  
 さらに今までフロントは荷重が薄い感じがありましたが、リバウンドスプリングの変更で常に荷重を掛けて(押し付けて)いられる感じになりました。  
 要は接地感が増したということです。  
 車体の前後バランスも落ち着いてきたのであとは微調整です。  
 2日間の走行が終わり、ベストタイムは1' 52. 62昨年のタイムを更新。しかし目標には届いていません。明日は予選ですが・・・。雨です。  
 結果は13番手グリッド。今後の課題です。  
 気持ちを切り替えて迎えた決勝レース。スタートはそれなりでしたが、飛び込んだ1コーナーで接触。  
 1周目は9番手その後、7番手まで順位を上げてようやくスタート位置についた感じです。  
 だんだんとペースが上がり、前を走行している芹沢選手を追い上げている矢先に、ピットイン。  
 シフトリンクが折れてしまうというトラブルによってリタイヤしました。  
 原因はなんともいえませんが、新品でも距離管理を確実にに行いなるべくこまめに交換するしかなさそうです。  
 開幕戦リタイヤというなんとも残念な結果になってしまいましたが、次戦に向けて手ごたえはつかんでいます。  
 すぐに第二戦鈴鹿です。ちょっと期待してください。進化した今野選手が見られるはずですよ。  
 応援ありがとうございました。

レーシングサプライ  
 畑中 健太郎